

なくそう！

# バス車内での転倒

- バスの発進時に手すりにしっかりとつかまっていなかった。
- 次のバス停で降車するため、バスの走行中に出口に向かって移動していた。

などにより、バス車内で転倒する事故が多発しています。



転倒を防止するため、バス発進時を含め、バスの走行中は、

◎着席しましょう。

◎立っている場合は、手すりなどにしっかりとつかまりましょう。

特に高齢者の方は、転倒しやすく、また、転倒すると骨折しやすいため、

◎高齢者の方などは、転倒の危険性を認識して、着席等を心掛けましょう。

◎周りの人達は、高齢者の方などに席やつかまりやすい場所を譲りましょう。

# 1. 乗合バスの車内での転倒事故により、多くの高齢者が重傷を負っています

- 平成21年の乗合バスの車内事故による重傷者数：93名
- そのうち65歳以上の方が占める割合：82.8%
- 転倒して重傷を負った高齢者の多くは、手足が不自由になったり、寝たきりの生活になったりしています。

# 2. バスの走行中に席を立とうとしたり、手すりなどにしっかりとつかまらずに立っていると、転倒の危険性が高まります

- バス運転者が気をつけて運転していても、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合もあるので、このような場合に対処できるようにする必要があります。
- 高齢者の方などは、バスに乗車したら、必ず、着席するか、手すりなどにしっかりとつかまって、転倒しないようにしましょう。
- 周りの人達は、高齢者の方などに席やつかまりやすい場所を譲りましょう。



# 3. 降車する際や車内を移動する際は、バスのドアが開いてから席を立ちましょう。

- バスの止まりがけに席を立ち、移動されるのは、大変、危険です。  
バスのドアが開いてから移動しましょう。
- バスの車内を移動する際も、あわてず、手すりや握り棒を掴んで移動しましょう。
- バスの種類によっては、車内に段差がありますので、気をつけましょう。

